



高松市立美術館運営方針 (案)

平成28年4月 策定
令和 8 年4月 改定

高 松 市

目 次

第1章	方針策定に当たって	1
1	策定の趣旨	1
2	方針の位置付け	2
3	取組の期間	2
4	これまでの歩み	2
5	美術館を取り巻く状況と今後の課題	5
第2章	方針	6
1	高松市立美術館運営方針	6
2	具体的な運営方針	6
第3章	取組の方向性と取組項目	7
1	取組の方向性	7
2	数値目標	7
3	方針の体系	8
第4章	取組項目と主な内容	10
取組の方向性1	取組項目1 展覧会の充実	10
	2 展覧会関連事業の充実	11
	3 美術品等の適正な収集・保管・公開	11
	4 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	12
	5 ユニバーサルミュージアムの推進	12
取組の方向性2	取組項目1 「美術館の日」の開催	13
	2 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	13
	3 開館時間等の弾力化	14
	4 観覧料の減免等	14
	5 職員の資質の向上	14
取組の方向性3	取組項目1 学校との連携	15
	2 地域等との連携	15
	3 美術館等との連携	16
	4 他分野との連携	16
	5 高松市美術館友の会との協働	17
	6 市民ボランティアの参画促進	17
取組の方向性4	取組項目1 教育普及事業の充実	18
取組の方向性5	取組項目1 効果的な情報発信	19
取組の方向性6	取組項目1 施設の利用促進	20
	2 施設の有効活用	20
取組の方向性7	取組項目1 施設設備の適切な維持管理	21
	2 災害等に備えた適切な対応	21
取組の方向性8	取組項目1 観覧料等の適正な運用	22
	2 自主財源の確保	22
	3 評価	22
付属資料		23
	美術館利用者数等	23
	用語の解説	25

第1章 方針策定に当たって

1 策定の趣旨

高松市美術館の前身である「高松美術館」は、文化拠点となる美術館を建設することで戦禍から復興しようとする市民等の手によって、昭和24(1949)年に栗林公園内に、地方の公立美術館として全国に先駆けて誕生しました。しかしながら、施設の老朽化により再び美術館建設が計画されると、市街地中心部に位置する都市型美術館として現在の地に移転することとなり、美術に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、昭和63(1988)年8月に「高松市美術館」として開館しました。

高松市民のみならず、県内における優れた美術鑑賞の場として、また、美術作品の収集や美術に関する情報提供を行うとともに、市民の様々な文化芸術活動の場として幅広く利用され、本市の文化芸術の振興に大きな役割を担ってきました。

他方、旧塩江町に平成6(1994)年4月に開館した「高松市塩江美術館」は、同町出身の画家・熊野俊一を始め、地元ゆかりの作家を中心とした作品の収集及び展覧会を開催するとともに、四季折々の自然をいかし、地域に根差した文化芸術活動の拠点となってきました。

このような中、余暇利用の多様化や県内を始めとする近隣地域での新しい美術館のオープンなど様々な要因により、両館とも開館当初に比べ、来館者が減少傾向にあることへの対策や施設・設備の経年劣化への対応等が求められてきたことから、平成19(2007)年10月に「美術館のあり方検討委員会」が設置されました。その後、同委員会において、美術館の今後の運営と在るべき姿について検討がなされ、平成20(2008)年2月に「市民に親しまれ魅力ある美術館づくり」と「美術館の効率的な運営」を柱とした「美術館のあり方に関する提言」が取りまとめられました。

本市では、この提言を踏まえ、平成21(2009)年3月に「高松市立美術館(*)の今後の運営方針」を策定し、これに基づき、美術館運営を行ってまいりました。

その後、本市の厳しい行財政状況や少子高齢化の進行等により、美術館運営を取り巻く環境が大きく変化していくなかで、高松市美術館において、平成27(2015)年1月から約1年をかけて「文化芸術の発信拠点としての機能強化」を基本方針とした改修工事が行われたことを踏まえ、平成28(2016)年4月に「高松市立美術館運営方針」を策定しました。

令和3(2021)年4月には、取組期間を5年間延長し現況を踏まえた取組の方向性や取組項目を見直すなどして同方針を改定しました。

さらには、人口減少、少子・超高齢社会の急激な進行や近年のサンプポート高松地区の再整備、また、インバウンドを始めとする交流人口の拡大など、美術館を取り巻く環境の変化と市民ニーズの多様化に適切に対応し、美術館の設置目的を達成するため、計画期間を更に5年間延長し、令和8(2026)年4月に方針の改定を行うものです。

(*) 高松市立美術館 高松市美術館及び高松市塩江美術館の総称

2 方針の位置付け

本方針は、「第7次高松市総合計画（令和6年度～13年度）及び「第3期高松市文化芸術振興計画（令和6年度～10年度）」を上位計画とし、整合性を図るものです。

●目指すべき都市像

第7次高松市総合計画

人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松

第3期高松市文化芸術振興計画

文化芸術を通して、市民が生き生きと心豊かに暮らせる
まち、高松の実現

3 取組の期間

令和8年度から12年度まで（5年間）

具体的な取組項目等については、社会情勢や市民ニーズの変化等に応じ、取組期間満了に伴う次期改定時に見直しを行うものとします。なお、取組期間中に見直しが必要となった場合は、適宜、見直しを行うものとします。

4 これまでの歩み

昭和	24(1949)年 11 月	栗林公園内に「高松美術館」を開館
	27(1952)年 4 月	高松美術館が「登録博物館」（香川県第1号）となる
	28(1953)年 4 月	「高松美術館友の会」が発足
	39(1964)年 4 月	「高松市立美術館」に改称
平成	63(1988)年 8 月	現在の地（紺屋町）に「高松市美術館」を開館
	6(1994)年 4 月	旧塩江町に「塩江町立美術館」を開館
	11(1999)年 10 月	「高松市美術館ボランティア civi（シヴィ）」が発足
	17(2005)年 9 月	旧塩江町との市町合併により「塩江町立美術館」から「高松市塩江美術館」に名称変更
	19(2007)年 10 月	「美術館のあり方検討委員会」を設置

平成	20(2008)年 2 月	「美術館のあり方検討委員会」により「美術館のあり方に関する提言書」が取りまとめられる
	21(2009)年 3 月 7 月	「高松市立美術館の今後の運営方針」を策定 8 月第 1 土曜日を「美術館の日」と定める
	22(2010)年	「瀬戸内国際芸術祭」の参加展覧会を開催（2010 年以降毎回）
	24(2012)年 4 月	「高松市美術館サポートショップ事業」を開始
	27(2015)年 1 月 ～28(2016)年 3 月	高松市美術館の大規模改修工事を実施（工事期間中全館休館）
	3 月	高松市美術館リニューアルオープン
	11 月	高松市美術館の「シンボルマーク・ロゴ」を発表
	28(2016)年 4 月	・「高松市立美術館運営方針」を策定 ・「こども+（こどもアートスペース）」を活用した様々なアートプログラムの提供を開始
	29(2017)年	高松市美術館が「J I A 2 5 年建築選」に登録される
	30(2018)年 8 月 ～31(2019)年 3 月	高松市塩江美術館の大規模改修工事を実施（工事期間中全館休館）
	31(2019)年 1 月	高松市美術館が「地域創造大賞」を受賞
	2 月	「高松市美術館公式 Instagram」を開設
	3 月	「高松市美術館公式 Facebook」を開設
	4 月	高松市塩江美術館リフレッシュオープン
令和	2(2020)年 3 月 ～5 月	新型コロナウイルス感染症感染拡大により臨時休館（2 3 日間）
	5 月	「高松市美術館公式 YouTube チャンネル」を開設
	7 月	「高松市美術館公式 X（Twitter）」を開設
	3(2021)年 3 月	「しごとプラザ高松」のショーウィンドー（丸亀町商店街）に「ブラン チギャラリー」開設
	4 月	「高松市立美術館運営方針」を改定
	5 月 ～4(2022)年 3 月	新型コロナウイルス感染症感染拡大により臨時休館（約 3 か月間）

3(2021)年 10 月	「高松市塩江美術館公式 YouTube チャンネル」を開設
4(2022)年 3 月	高松市美術館観覧料等の支払いへのキャッシュレス決済システムを導入
9 月	「エントランス活用事業（公募）」を開始
5(2023)年 5 月	高松市美術館が「瀬戸芸美術館連携プロジェクト」に参加
8 月	高松市美術館が開館 35 周年を迎える
6(2024)年 4 月	高松市塩江美術館が開館 30 周年を迎える
7(2025)年 1 月	高松市美術館の無料 Wi-Fi スポットを来館者スペース全域に拡充
3 月	高松市美術館が博物館法の一部改正に伴い、改めて「登録博物館」となる
4 月	高松市塩江美術館観覧料等の支払いへのキャッシュレス決済システムを導入
11 月	高松市塩江美術館の「美術館の日」を 11 月第 2 土曜日に変更
8(2026)年 4 月	「高松市立美術館運営方針」を改定

〈高松市美術館シンボルマーク・ロゴ〉



高松市美術館のシンボルマークは Takamatsu Art Museum の頭文字を、高松の街と瀬戸内の海に浮かぶ島々の景色に見立てたものです。

一番背の高い T はシンボルタワー、A と M は島々の景観です。

瀬戸内国際芸術祭によって世界有数のアートゾーンとして知られるようになった高松市の美術館として都市と海の風景をシンボライズすることは、有意義だと考えました。

地元の人たちにも、世界の人々にも、そして高松を故郷とする人々にも瀬戸の島々を抱くこの土地を、想起してもらえるデザインです。

シンボルマークとロゴタイプとの組み合わせによって、海の島々の景色が様々に変化するように見えます。

印刷物やサイン、WEB などに展開され、その効果が発揮されるでしょう。

デザイナー 原 研哉

5 美術館を取り巻く状況と今後の課題

●高松市の状況

令和6年3月から7年4月にかけて、高松駅ビル「高松オルネ」のオープンや「香川県立アリーナ」の開館、徳島文理大学「高松駅キャンパス」の開学など、本市の玄関である「サンポート高松地区」が大きく様変わりしました。

また、インバウンドの増加により外国人観光客が増えていることに加え、令和7年度には「瀬戸内国際芸術祭2025」や「大阪・関西万博」、また、「第49回全国高等学校総合文化祭」が開催されるなど、にぎわいと活気があふれるまちになっています。

こうした中、シビックプライドの醸成を図るとともに、暮らす人、訪れる人、それぞれが Well-being な心地よさを感じ、国内だけでなく国外からも認知され、注目される魅力ある「世界都市・高松」を目指しています。

一方で、少子・超高齢化の急激な進行による労働力人口の減少や地域経済の縮小、物価高騰など、また、老朽化施設の更新・修繕経費や社会保障、人件費などの増加により、財政状況は一段と厳しい状況にあることから、安定的・持続的な行財政運営のため徹底した行財政改革に取り組む必要があります。

●美術館の状況と課題

価値観の多様化やライフスタイルの変化等に伴い、美術館に求められる役割が多様化・高度化する中、「博物館法の一部を改正する法律」が施行（令和5年4月1日）され、これまでの資料収集や展示、また教育、調査などの基本的な役割に加え、まちづくりや観光・産業、福祉などの幅広い関係機関と連携した文化施設としての役割が求められるようになりました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、臨時休館を余儀なくされるなど大きな影響を受けましたが、これらの経験を踏まえ、市民等の美術鑑賞機会が確保されていることの重要性、また、そのような機会を提供する美術館の役割を改めて認識しました。さらに、オンラインを活用した新たな鑑賞手法等の充実とともに、美術館が所有するコンテンツのデジタル・アーカイブ化を加速させる必要性も高まっています。

このような中、高松市立美術館は運営方針の下、それぞれの美術館の独自性や創造性をいかし、資料等の収集、展覧会や関連事業など、各種事業に取り組んでいます。

展覧会においては、高松市美術館では特別展のバラエティに富んだ企画や内容の充実等、また、高松市塩江美術館では地元ゆかりの作家による企画展の開催など地域に根差した取組を推進しています。

更には、ICTを活用した新たな鑑賞手法や館内外での学習機会の提供など、幅広い年齢層を対象に、美術鑑賞等を通して豊かな創造力と感性を育むため、教育普及事業の充実に取り組んでいます。また、瀬戸内国際芸術祭への参加を始め、他の美術館等、高松市中央商店街等や地域、学校等との連携・協働の充実を図り、効果的な広報等にも積極的に取り組むなど、国内外の人々に親しまれ創造性あふれる美術館を目指しています。

今後においても、加速する人口減少、少子・超高齢社会の進行や厳しい財政状況、また、多様化・高度化するニーズに対応できるよう創意工夫を凝らすとともに、多様な主体との連携・協働により、より効果的な取組を推進し、市民に必要とされる美術館として、本市の文化芸術の振興に寄与することが求められています。

また、サンポート高松地区を始めとするにぎわいや増加している交流人口を、高松市美術館を始め近接する中心商店街や高松市塩江美術館の拠点となる山間部まで波及させ、集客につながるような取組が必要となっています。

第2章 方針

1 高松市立美術館運営方針

高松市立美術館は、「創造都市高松の文化芸術の拠点として、市民に必要とされ、かつ、市民を始め、国内外の人々に親しまれ創造性あふれる美術館」を目指します。そのため、「高松市の美術館としての独自性や創造性をいかしつつ効率的な運営」をします。

2 具体的な運営方針

高松市美術館

高松市美術館では、展覧会の充実や系統的な美術品の収集に努めるとともに、教育普及事業の推進については、未来を担う子どもの創造性を育むなど、一層の充実を図ります。

また、中心商店街に近接した都市型美術館という立地条件をいかし、地域との連携の強化により、にぎわいや交流の創出など、まちづくりと一体となった取組を推進し、「人・街・未来につながるミュージアム」として、都市機能の向上に寄与する美術館を目指します。

高松市塩江美術館

高松市塩江美術館では、山あいの豊かな自然に恵まれた環境に立地する美術館という地域特性をいかした、文化芸術を楽しむ空間づくりを目指し、展覧会の充実や系統的な美術品の収集、教育普及事業の充実を図り、地域に根差した取組を進めます。



高松市美術館



高松市塩江美術館

第3章 取組の方向性と取組項目

1 取組の方向性

運営方針の実現に向けて、8つの「取組の方向性」を次のとおり定めます。

1	誰もが美術の魅力を実感できるよう、展覧会等の充実や多様な美術鑑賞手法等の提供に努めます。
2	誰もが気軽に美術館を利用することができるよう、利用者サービスの向上に取り組みます。
3	学校や地域など多様な主体との連携・協働を推進するとともに、ボランティアなどの市民参画を促進します。
4	美術鑑賞等を通して、市民の豊かな感性や創造性を育むことができるよう、幅広い世代を対象とした教育普及事業の充実に取り組みます。
5	多様な媒体を活用し、美術館の魅力を広く発信することにより、利用者の増加と認知度の向上に取り組みます。
6	貸施設の利用促進を図るとともに、施設全体を有効活用した事業等の充実に取り組みます。
7	施設設備の適切な維持管理を行うとともに、災害等に対する利用者の安全確保に努めます。
8	美術館の事業内容、利用者数や費用対効果について、その成果や課題を検証し、今後の効率的な事業運営にいかします。

2 指標

高松市立美術館運営方針に基づき、各種の取組を展開した結果として、その成果を総合的に判断する指標と数値目標を定めるものです。

●指標 年間利用者数

●数値目標

美術館名	令和元年度 実績	基準値			目標値 (令和12年度)		
	利用者数 (人)	来館者数 (人)	動画配信 視聴回数(回)	利用者合計 (人)	来館者 (人)	動画配信 視聴回数(回)	利用者合計 (人)
高松市美術館	136,097	156,000	18,000	174,000	168,000	19,800	187,800
高松市 塩江美術館	19,212	15,600	-	15,600	15,700	430	16,130
利用者数計	155,309	171,600	18,000	189,600	183,700	20,230	203,930

※ 基準値：来館者数は、おおむねR4～6年度の平均値。動画配信視聴回数は、おおむね配信開始年～R6年度の平均値。

※ 利用者合計：動画配信回数1回を視聴者1人に置き換え、来館者数に加算。

3 方針の体系

取組の方向性	取組項目	主な取組
1 誰もが美術の魅力を実感できるよう、展覧会等の充実や多様な美術鑑賞手法等の提供に努めます。	(1)展覧会の充実	巡回展
		現代アートの展覧会
		コレクション展（常設展）
		企画展
		常設展
		作品解説の充実
	(2)展覧会関連事業の充実	ギャラリートーク等
		講演会、コンサート、ワークショップ等
	(3)美術品等の適正な収集・保管・公開	美術品等の収集・保管・公開
	(4)DXの推進	ICTを活用した鑑賞や学習機会の提供
		作品等のデジタル・アーカイブ化
	(5)ユニバーサルミュージアムの推進	鑑賞手法の多様化
		作品解説の充実
		施設設備の整備
2 誰もが気軽に美術館を利用することができるよう、利用者サービスの向上に取り組めます。	(1)「美術館の日」の開催	「高松市美術館の日」の開催
		「塩江美術館の日」の開催
	(2)DXの推進	ICT技術の活用
		無料Wi-Fiスポットの整備
	(3)開館時間等の弾力化	開館時間等の弾力化
	(4)観覧料の減免等	観覧料の減免等
3 学校や地域など多様な主体との連携・協働を推進するとともに、ボランティアなどの市民参画を促進します。	(1)学校との連携	学習等の支援
		連携・協働による事業への取組
	(2)地域等との連携	商店街との連携
		地域等との連携
	(3)美術館等との連携	他の美術館との連携
		関係機関等との連携
	(4)他分野との連携	観光・産業・福祉分野等との連携
	(5)高松市美術館友の会との協働	共催事業の開催
	(6)市民ボランティアの参画促進	ボランティアの活動支援及び参画促進

取組の方向性	取組項目	主な取組
4 美術鑑賞等を通して、市民の豊かな感性や創造性を育むことができるよう、幅広い世代を対象とした教育普及事業の充実に取り組みます。	(1)教育普及事業の充実	鑑賞・学習機会の提供
5 多様な媒体を活用し、美術館の魅力を広く発信することにより、利用者の増加と認知度の向上に努めます。	(1)効果的な情報発信	I C Tの活用
		関係機関との連携
		商店街等との連携
		マスメディア等との連携
6 貸施設の利用促進を図るとともに、施設全体を有効活用した事業等の充実に取り組みます。	(1)施設の利用促進	貸室情報の充実
	(2)施設の有効活用	施設の有効活用
7 施設設備の適切な維持管理を行うとともに、災害等に対する利用者等の安全確保に努めます。	(1)施設設備の適切な維持管理	保守点検・修繕等
	(2)災害等に備えた適切な対応	災害時の安全確保
		感染症の感染拡大防止対策
8 美術館の事業内容、利用者数や費用対効果について、その成果や課題を検証し、今後の効率的な事業運営にいかします。	(1)観覧料等の適正な運用	観覧料等の定期的な見直し
	(2)自主財源の確保	補助金等の活用
	(3)評価	自己評価



令和6年度 高松市美術館 コレクション展2
「駆ける女たち-コレクションに見る女性美術家たち」



高松市塩江美術館 開館30周年記念イベント
塩江温泉鉄道 塩江美術館駅プロジェクト
「みんなでトンネルアート」

第4章 取組項目と主な内容

※主な取組内容の☆は新規、★は拡充

取組の方向性 1	誰もが美術の魅力を実感できるよう、展覧会等の充実や多様な美術鑑賞手法等の提供に努めます。
-------------	--

取組項目 1 展覧会の充実

展覧会は、美術館の最も重要な事業で、美術館の特徴や方向性を端的に表すものであり、また、観覧者数や観覧者からの声は、美術館に対する評価や満足度の大きな判断要素となるもので、その内容や構成等の充実が求められます。

高松市美術館では、特別展とコレクション展（常設展）を主軸とし、特別展では、市民ニーズを的確に捉え、幅広い分野から集客性や先進性等のバランスに配慮した巡回展や、市民等に新しい美術手法や表現方法を用いたメディアアートなど先進的なアートを紹介する自主企画展、そのほか、瀬戸内国際芸術祭と連携した現代美術の展覧会を開催するなど、国内外の人から満足が得られる充実した展覧会を開催します。また、コレクション展では、毎回異なるテーマの下、所蔵美術品や関連アーティストの作品を組み合わせるなど、各種展覧会の充実に取り組みます。

高松市塩江美術館では、企画展と常設展を主軸とし、企画展では香川県ゆかりのアーティスト等による展覧会を、常設展では所蔵美術品や塩江町出身の作家等による展覧会を開催します。

また、展覧会における作品解説は、鑑賞者に作品や作家等についての知識や理解を深めてもらうために有用なことから、主要作品のキャプション等にQRコードを付け、それを読み取ることにより、更に詳しい解説を見ることができるようにするなど、作品解説の充実を図ります。

さらには、作品解説等の外国語表記や、外国人にもわかるように配慮した「やさしい日本語」を用いるなど、インバウンドの拡大に伴い増加する外国人観覧者への対応の充実にも努めます。



QRコードでの英訳解説読み取り

主な取組	主な内容	館
巡回展	・絵画、工芸、彫刻、写真・映像、デザイン、メディアアート等の展覧会企画・招致	高松
現代アートの展覧会	・現代アートの展覧会の定期的な開催 ・瀬戸内国際芸術祭と連携した展覧会の開催	
コレクション展（常設展）	・所蔵作品と関連アーティストの作品を組み合わせた展覧会の開催	
企画展	・香川県ゆかりのアーティストによる展覧会の企画・招致	塩江
常設展	・所蔵美術品等による展覧会の開催	
作品解説の充実	★QRコードを活用した作品解説 ★作品解説の外国語表記 ★やさしい日本語による作品解説	共通

取組項目 2 展覧会関連事業の充実

年間を通して多くの市民に展覧会へ足を運んでもらうためには、展覧会への関心や理解を深めるとともに、楽しみながら美術に触れてもらえる関連事業の充実が必要です。

各展覧会に関連した講演会や展示作品の解説等、また、年齢等に関係なく誰もが参加できるコンサートやワークショップなどを開催し、美術鑑賞だけでは味わえない楽しさや魅力がある展覧会とするため、関連事業の充実に取り組みます。

主な取組	主な内容	館
ギャラリートーク等	・出展作家等によるアーティストトークの開催 ・学芸員等によるギャラリートーク	共通
講演会、コンサート、ワークショップ等	・専門家等による講演会の開催	高松
	・ミニコンサートの開催 ・ワークショップの開催	共通

取組項目 3 美術品の適正な収集・保管・公開

美術品の収集・保管は、美術館の基本的な役割の一つであり、収集については展示内容を充実させるとともに、美術館の性格を特色付ける重要な要素でもあります。

特に、高松市美術館の収蔵品は、東京国立近代美術館、ニューヨーク近代美術館、フランス国立近代美術館（ポンピドゥー・センター）など、国内外の美術館における展覧会への貸出しや教科書を始め各種出版物への掲載実績が多数あるなど高い評価を受けています。今後も収集方針に基づき、質の高い美術品を適正かつ円滑に収集できるよう努めます。

また、博物館法の一部改正により、博物館が行う事業に博物館資料に係る電磁的記録を作成（デジタル・アーカイブ化）し、公開することが追加されたことなどを踏まえ、「高松市ウェブミュージアム 収蔵品情報システム」の運用の充実や美術品の適正な保管・公開に努めます。

主な取組	主な内容	館
美術品等の収集・保管・公開	・収集方針に基づく適正かつ円滑な美術品等の収集 ・収蔵作品等の適正な保管 ★収蔵作品等のデジタル・アーカイブ化	共通

《美術品等収集方針》

高松市美術館	高松市塩江美術館
・戦後日本の現代美術 ・20世紀以降の世界の美術（版画） ・香川の美術（工芸）	・香川県にゆかりのある作家の作品 ・塩江に関する資料



磯井正美
《蒔罫 むらさき箱》
（高松市美術館コレクション）



熊野俊一
《初秋のマッターホーン》
（高松市塩江美術館コレクション）

取組項目 4 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

コロナ禍を機に、公式 YouTube チャンネルにおける展覧会の作品解説や講演会等の配信、また、Facebook 等の公式 SNS を活用して美術館事業を紹介するイベントレポートの配信などに積極的に取り組んできました。こうした取組に加え、DXの進展が人々の生活様式等に変化をもたらすなか、美術館での美術鑑賞等だけでなく、ICTを活用した日常的に美術に触れられるなど多様な鑑賞等の機会提供や幅広い世代が楽しめるプログラムを紹介します。

また、高松市ウェブミュージアム 収蔵品情報システムにおいて所蔵作品等を公開するほか、多様なコンテンツのデジタルアーカイブ化に取り組めます。

主な取組	主な内容	館
ICTを活用した鑑賞や学習機会の提供	・動画配信やホームページにおける作品解説 ・講演会等美術館事業の動画配信	共通
	・SNSを活用した美術館事業の配信 ・「おうちでアート」、「ふらっとアート」の動画配信	高松
作品等のデジタル・アーカイブ化	★高松市ウェブミュージアム 収蔵品情報システム運用の充実 ★収蔵作品等のデジタル・アーカイブ化（再掲）	共通



高松市美術館
公式 YouTube
チャンネル

取組項目 5 ユニバーサルミュージアムの推進

美術や美術館をより身近なものとして感じてもらうためには、性別や年齢、障がいの有無や言語などに関わらず、誰もが美術や美術館に親しみ、享受できる環境づくりが必要です。

筆談鑑賞等の障がい者に配慮した鑑賞手法を取り入れるなど、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた作品鑑賞や解説の充実のほか、施設設備の整備に取り組めます。

主な取組	主な内容	館
鑑賞手法の多様化	・手話や筆談による鑑賞 ・作品に触れる鑑賞	共通
作品解説の充実	★QRコードを活用した作品解説（再掲） ★作品解説の外国語表記（再掲） ★やさしい日本語による作品解説（再掲）	共通
施設設備の整備	・スロープや点字ブロックの整備 ・車いすやベビーカーの配置 ・手荷物用ロッカーの配置	共通
	★デジタルサイネージを活用した案内 ・授乳室、救護室の設置 ・点字図書コーナーの設置	高松

取組の方向性 2	誰もが気軽に美術館を利用することができるよう、利用者サービスの向上に取り組めます。
-------------	---

取組項目 1 「美術館の日」の開催

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、また、高松市美術館が昭和63年8月6日(土)に開館したことにちなみ、平成21年に、8月の第1土曜日を「美術館の日」と定め、観覧料の免除や親子で楽しめるワークショップなどを開催しています。

「美術館の日」は、多くの市民が美術館に集い、楽しみ、気軽に美術館に親しむ機会として定着しており、美術館の認知度向上や美術館へ行く動機付けにもつながっています。

令和7年度からは、高松市塩江美術館の開催日を、地域の豊かな自然に触れられる11月第2土曜日に変更したことにより、市民が両美術館の「美術館の日」を楽しめるようにもなりました。

この「美術館の日」を契機として、それぞれの美術館の特性をいかし、年間を通じて市民を始め多くの人が集い、にぎわう美術館となるよう取り組めます。

主な取組	主な内容	館
「高松市美術館の日」の開催	・ 観覧料の免除	共通
「塩江美術館の日」の開催	・ 来館者が気軽に楽しめるイベント等の開催	

取組項目 2 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

高松市美術館では令和4年3月から、高松市塩江美術館では7年4月から、観覧券や図録等の購入の際に、クレジットカードや電子マネーなどのキャッシュレス決済を導入しています。

また、高松市美術館では、インターネットが無料で接続できるよう来館者スペース全てに無料Wi-Fiスポットを整備するなど、利用者サービスの向上に取り組んでいます。

DXの推進に取り組む中、高松市美術館では、ホームページから観覧券がキャッシュレスで事前購入できる新たなキャッシュレスシステムや、QRコード付きチケットの導入の可能性について、他館の取組を研究するとともに利用者ニーズや費用対効果等を踏まえた検討を進めるなど、インバウンドを始めとする利用者の更なる利便性の向上につなげます。

主な取組	主な内容	館
ICT技術の活用	・ 観覧料等の支払いへのキャッシュレスシステム導入	共通
	☆観覧料等の支払いへの新たなキャッシュレスシステム導入の検討	高松
	☆QRコード付きチケット導入の検討	
無料Wi-Fiスポットの整備	・ 来館者スペースへの無料Wi-Fiスポットの整備	高松



常設展示室受付



ロビー

取組項目3 開館時間等の弾力化

高松市美術館では、特別展会期中の金・土曜日は開館時間を19時まで延長するとともに、瀬戸内国際芸術祭等の全国規模の事業開催に関連した開館時間の延長等を行っています。

商店街に近接する都市型美術館の特性をいかし、まちなか回遊の促進やにぎわいの創出、また、美術館への誘客につなげるため、厳しい財政状況や看視員等の確保などの課題はあるものの、観覧者数の推移や市民ニーズ等も見極めながら、夜間イベント等と連携した開館時間の延長について弾力的な対応に努めます。

主な取組	主な内容	館
開館時間等の弾力化	・ 特別展会期中の金・土曜日は19時まで開館時間を延長 ・ 瀬戸内国際芸術祭開催期間中の特別展等について、状況に応じた開館時間の延長 ☆夜間イベント等と連携した開館時間の延長	高松

取組項目4 観覧料の減免等

高松市立美術館では、子どもの頃から美術に親しみ、豊かな感性を育む環境を支援するため、高校生以下は全ての観覧料を無料にしています。また、障害者手帳をお持ちの方などは観覧料を免除するほか、商店街や公共施設を始め、関係機関等と連携した相互割引等の減額も行っています。

また、大学等や香川県立アリーナと連携した観覧料の減額等も行っており、このような観覧者の支援や誘客につながる観覧料の減免について適切に対応します。

主な取組	主な内容	館
観覧料の減免等	・ 主催展の観覧料無料（高校生以下） ・ 主催展の観覧料の減額・免除（障がい者、団体鑑賞、高松市キャンパスメンバーズ制度に加入した大学等に在籍する学生等）	共通
	・ 主催展の観覧料の減額（県立アリーナ（土・日曜日、祝日）の利用者）	高松

取組項目5 職員の資質の向上

近年、美術館に求められる役割が多様化・高度化する中、学芸員を始めとする美術館職員のスキルアップが求められており、博物館法の一部改正においても美術館が行う事業に、学芸員その他の美術館の事業に従事する人材の養成・研修を行うことが追加されました。

専門スキルの向上や多様化する利用者ニーズに適切に応えられる職員の育成は、美術館の魅力や利用者の満足度向上にも重要であることから、オンラインを活用した外部研修等の積極的な受講や、マニュアルや研修だけでは身につかない知識やスキルを補うOJTの充実に取り組みます。

主な取組	主な内容	館
職員研修	★外部研修の受講 ★OJTの充実	共通

取組の方向性 3	学校や地域など多様な主体との連携・協働を推進するとともに、ボランティアなどの市民参画を促進します。
-------------	---

取組項目 1 学校との連携

美術館学習での対話型鑑賞等や学校で実際の作品を鑑賞する「お出かけ美術館」など多角的に作品と触れる機会の創出は、美術や美術館に関わる動機付けとしての一面も大きく、子どもたちの豊かな感性や創造性を育むとともにシビックプライドの醸成にもつながっています。

また、大学と連携・協働したミニコンサートの開催や中・高校生等の参画による作品制作や展示等を行っているほか、県内の大学等の学生が本市の文化施設等を利用しやすい環境づくりとして「キャンパスメンバーズ制度」を運用し、学生生活の文化的な充実を図っています。

学校との連携・協働による学習支援や美術館事業への参画は、次代を担う子どもたちの育成や美術館を通じた地域との連携にもつながることから、学校との連携の充実を図ります。

主な取組	主な内容	館
学習等の支援	・美術館学習、博物館実習及びインターンシップの受入 ・お出かけ美術館	共通
連携・協働による事業への取組	★展覧会関連事業等への参画	共通
	・高松市キャンパスメンバーズ制度の運用	高松
	・中2階ロビー等での展示等への参画	塩江
	★ワークショップ等への参画	塩江

取組項目 2 地域等との連携

高松市美術館では商店街等周辺店舗と連携して相互割引等を行う「高松市美術館サポートショップ事業」や「ブランチャラリー」を開設し、展覧会関連作品等を展示しています。

また、高松市塩江美術館では地元各種団体と連携したワークショップ等を開催しています。

このような各美術館の特性をいかした取組を通して、周辺地域の活性化及び美術館の来館者の増加に向けた取組を充実します。

また、地域等へ出向いて行って作品展示等を行う「出張美術館」や、美術館の取組紹介やワークショップを行う「出前講座」の開催、また、展覧会等のポスター掲示等による情報発信により、身近なところで美術に触れられる機会の創出や美術館へ行く動機付けにつなげます。



ブランチャラリー

主な取組	主な内容	館
商店街との連携	・広報 ・ブランチャラリー ・高松市美術館サポートショップ事業	高松
地域等との連携	・広報 ・出張美術館及び出前講座（市政出前ふれあいトーク）	共通
	★塩江地区コミュニティ協議会及び塩江温泉観光協会との連携	塩江

取組項目 3 美術館等との連携

「せとうち美術館ネットワーク」への参加や各種美術館協議会等への加盟などにより、様々な情報共有や発信、更には地域の活性化にも取り組んでいます。

また、瀬戸内国際芸術祭と連携した展覧会等の開催や広報等にも積極的に取り組むほか、高松市美術館では玉藻公園等と連携した相互割引を行うなど、誘客等に相乗効果が生まれるよう努めています。

他の美術館との作品等の相互貸借や展覧会等の情報交換、また、効果的な広報等は美術館運営に非常に有益であることから、他の美術館や各種関係協議会等との連携の充実を図ります。

主な取組	主な内容	館
他の美術館との連携	・ せとうち美術館ネットワークへの参加 ・ 各種協議会への加盟	共通
関係機関等との連携	・ 瀬戸内国際芸術祭との連携	共通
	・ 玉藻公園、香川県立ミュージアム、栗林公園との連携	高松

取組項目 4 他分野との連携

社会の変化に応じた美術館の実現を図るため、これまでの資料の収集・保管、展示・教育、調査・研究という基本的な役割や機能を果たしながら、観光、まちづくり、福祉、教育、産業分野等との有機的な連携による取組が求められています。

行政内での横断的な取組を推進するとともに、NPO等と連携した障がい者等の鑑賞支援等や観光関連機関等と連携した情報発信のほか、「クリエイティブ・ポート高松」(地域アーツカウンシル)を始め、周辺文化施設等と連携した文化芸術の振興や地域活性化等に取り組めます。

主な取組	主な内容	館
観光・産業・福祉分野等との連携	・ せとうち観光推進機構との連携 ・ NPO等との連携	共通
	★サンポート高松地区周辺施設等との連携	高松



(公財) 香川県聴覚障害者協会による鑑賞支援
「手話による読み聞かせ」

取組項目 5 高松市美術館友の会との協働

「高松市美術館友の会」は、美術館の活動を援助することなどを目的として活動している高松市美術館のパートナーとして、互いの事業の充実に取り組んでいます。

高松市美術館友の会と協働で、コンサートやワークショップ等を開催することは、日頃、美術や美術館となじみのない方への来館の動機付けなどにもつながっていることから、高松市美術館友の会との協働を推進します。

主な取組	主な内容	館
共催事業の開催	・ふれあいコンサート等の開催	共通



「映画音楽コンサート」



「消しゴム版画 年賀状 ワークショップ」

取組項目 6 市民ボランティアの参画促進

美術館ボランティア「civi」は、美術館と来館者の橋渡しとなる活動で高松市美術館を支える、もう一つのパートナーです。

「civi」によるギャラリートークやワークショップ等へのサポートは、観覧者の作品への理解を深めるだけでなく、事業の円滑な運営にも貢献しています。

「civi」への情報提供や研修を行うなど、その活動を支援することで、来館者サービスの向上と市民参画の促進につなげます。



美術館ボランティア civi によるギャラリートーク

主な取組	主な内容	館
ボランティアの活動支援 及び参画促進	・研修及び情報提供 ・ギャラリートーク及び教育普及事業補助	高松

取組の方向性 4	美術鑑賞等を通して、市民の豊かな感性や創造性を育むことができる 17 幅広い世代を対象とした教育普及事業の充実に取り組みます。
-------------	--

取組項目 1 教育普及事業の充実

美術館は、国内外の優れた美術作品の鑑賞を通して、多様な美術の表現領域・表現方法に触れ、豊かな感性を育むための社会教育施設であることから、教育普及事業は、展覧会事業などとともに美術館の主要事業の一つに位置付けられています。

また、市民の美術活動を支援するという役割を踏まえ、未就学児から大人まで幅広い年齢層に向けた多彩な教育普及事業を行うことが求められています。

特に、子どもたちにとっては、初めて美術と関わる動機付けとしての一面も大きく、幼少期から美術を楽しみながら豊かな感性や創造性を育む環境整備は肝要であり、将来の美術館の来館者にもつながることから、各種教育普及事業の充実に努めます。

高松市美術館では、子どもから大人まで無料で自由に利用できる「こども^{プラス}」（こどもアトスペース）や美術館図書コーナーを活用したものづくりや学びの場の充実にも取り組みます。

主な取組	主な内容	館
鑑賞・学習機会の提供	・ワークショップ ・美術体験プログラムの提供 ・美術館学習及び博物館実習等の受入 ・出張美術館及び出前講座（再掲）	共通
	・こども^{プラス}（こどもアトスペース）の設置 ・美術館図書コーナーの設置	高松



高松市塩江美術館ワークショップ
「いきもののようなものをつくろう」



方向性の方向性 18 5	多様な媒体を活用し、美術館の魅力を広く発信することにより、利用者数の増加と認知度の向上に取り組めます。
--------------------	---

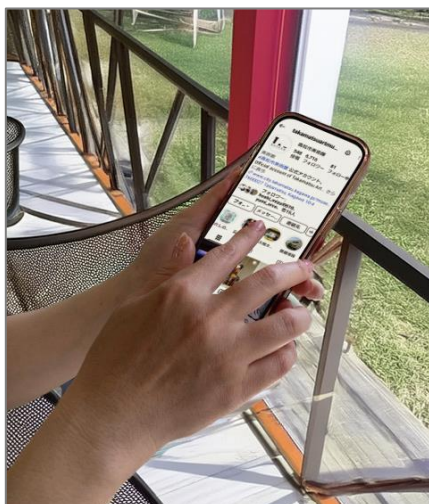
取組項目 1 効果的な情報発信

美術館の魅力や取組を広く効果的に発信することは、利用者数の増加や美術館の認知度向上にもつながることから、地域や学校、関係機関等と連携した広報を推進しています。また、美術館公式 SNS を始め、高松市公式観光サイト「エキスペリエンス高松」や高松市公式 LINE 等において、積極的な発信に努め、タイムリーな情報を多様な層に届けるとともに、多角的な情報発信に取り組んでいます。

また、外国人の方にもわかりやすく情報を届けるため、ホームページや案内リーフレットの多言語対応の充実にも努めています。

効果的な手法やターゲットを意識した広報戦略は、全ての取組につながることから、より効果的な情報発信に取り組むとともに、本市の魅力の一つとして美術館のブランド力を高め、国内外の幅広い世代から関心や好感が得られるようシティプロモーションにも努めます。

主な取組	主な内容	館
ICT の活用	・ SNS の活用 ・ ホームページの充実	共通
関係機関との連携	・ せとうち美術館ネットワークへの参加（再掲） ・ 地域や学校、文化・観光施設等との連携	共通
商店街等との連携	・ 懸垂幕の無償掲出 ・ ブランチギャラリー（再掲） ・ 高松市美術館サポートショップ事業（再掲）	高松
マスメディア等との連携	・ 新聞、テレビ等報道機関による発信 ・ 高松空港や JR 等の駅・車内での広告掲出	共通 高松



高松市公式観光サイト「エキスペリエンス高松」

取組の方向性 6	貸施設の利用促進を図るとともに、施設全体を有効活用した事業等に取り組めます。	19
-------------	--	----

取組項目 1 施設の利用促進

高松市美術館には、市民等の文化芸術に関する発表等に利用できる展示室や講堂、市民ギャラリー等、高松市塩江美術館にはホールや展示室等の貸室を有しています。

貸室等の利用促進を図るため、貸室等の利用や展覧会等の情報を広く発信するとともに、高松市美術館においては、施設予約システムを活用した利用予約や空き室状況等を公開するなど、利用者サービスの向上にも努めます。

主な取組	主な内容	館
貸室情報の充実	・貸室の利用に関する情報発信	共通
	・貸室の利用状況の公開	高松

取組項目 2 施設の有効活用

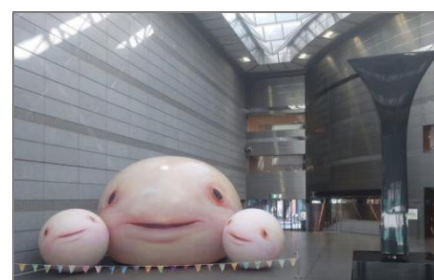
高松市美術館では、エントランスホールにおいて、エントランス活用事業や展覧会に関連したコンサート等を開催し、中2階においては、「こども^{プラス}」（こどもアールスペース）での美術体験プログラム等の提供やロビーでの学校等と連携した作品展示等を行っており、高松市塩江美術館では、屋外デッキや美術館を囲む自然空間を活用して、ワークショップを実施しています。

美術鑑賞だけでなく、様々な角度から美術館に親しむ動機付けにもつながる取組を円滑に実施するため、施設の効果的な活用にも努めます。

また、ミュージアムショップやカフェは、来館者が買い物や飲食を楽しむだけでなく、グッズ等を通じた美術館や作品の魅力向上に寄与するとともに、普段、美術館を訪れない人と美術館をつなぐ役割を持っていることから、創意工夫を凝らした運営等による充実に努めます。



エントランス活用事業（公募）



エントランスホール特別展示
「松井えり菜 ウーパールーパーバルーン」

主な取組	主な内容	館
施設の有効活用	・エントランスホールの活用 ・中2階ロビーの活用 ・こども^{プラス}（こどもアールスペース）の活用 ・ミュージアムショップ及びカフェ等の充実	高松

	・デッキ等の活用	塩江
取組の方向性 7	施設設備の適切な維持管理を行うとともに、災害等に対する利用者等の安全確保に努めます。	

取組項目 1 施設設備の適切な維持管理

高松市美術館は平成27年に、塩江美術館は平成30年に大規模改修工事を行ったものの、いずれも改修後約10年が経過しており、その際、対象外となった設備等もあります。

収蔵品の適切な保管を始め、安全・安心・快適なサービスの提供が求められていることから、施設設備の定期的な保守点検や法定点検等のほか、屋外の景観維持を行います。

また、修繕計画に基づく更新や改修を効率的に行い、施設設備の適切な維持管理と利用者等の安全確保に努めます。

主な取組	主な内容	館
保守点検・修繕等	・定期的な保守点検 ・法定点検及び検査 ・公共施設点検マニュアルに基づく点検 ・屋外の景観維持 ★修繕計画に基づく更新・改修	共通

取組項目 2 災害等に備えた適切な対応

近年、各地で異常気象による大雨や洪水等の自然災害が頻発しているほか、南海トラフ地震の発生確率もより高まっており、災害発生時には、迅速かつ正確な情報収集に努めるとともに、来館者等の安全確保が重要です。特に、予期しない火災や地震などの発生時においては、冷静かつ適切な行動が求められます。

美術館職員の危機管理意識を高めるとともに、有事における来館者の安全が確保できるよう、避難誘導マニュアルに基づく訓練等を行います。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を機に、あらゆる感染症に対する日常的な感染対策が呼びかけられています。

美術館では、展示室等の換気や手指消毒液の配置等の基本的な感染対策を講じるなど、感染症拡大防止に努めます。また、万一、感染が拡大した際には、関係機関と連携を密にし、感染拡大防止対策を徹底することで、更なる感染拡大の防止に努めます。

主な取組	主な内容	館
災害時の安全確保	・気象状況を踏まえた臨時休館等 ★火災及び地震発生時の適切な避難誘導	共通
	★避難者対応（津波避難ビル）	高松
感染症の感染拡大防止対策	・基本的な感染防止対策 ・感染拡大時の適切な対応	共通

取組の方向性 8	美術館の事業内容、利用者数や費用対効果について、その成果や課題を 21 し、今後の効率的な事業運営にいかします。
-------------	---

取組項目 1 観覧料等の適正な運用

「高松市受益者負担見直し基準」に基づき、観覧料・施設使用料等について、定期的な見直しを行い、コスト面、負担の公平性の面から受益者負担の適正化に取り組みます。

主な取組	主な内容	館
観覧料等の定期的な見直し	・受益者負担を踏まえた観覧料等の見直し	共通

取組項目 2 自主財源の確保

財政の自主性と安定性を高め、持続可能な財政運営を行うために、自主財源の確保は重要です。展覧会の開催等の事業運営に当たっては、各種補助金・助成金等の情報収集と積極的な活用に努めるとともに、新たな資金調達方法を研究するなど、自主財源の確保に努めます。

主な取組	主な内容	館
補助金等の活用	・積極的な補助金、助成金等の活用 ☆新たな資金調達方法の研究	共通

取組項目 3 評価

市民に必要とされ、また、市民を始め、国内外の人に親しまれる美術館を目指す上で、運営方針に基づく取組の評価と改善は重要です。

事業内容や利用者数、費用対効果等について、その成果と課題等を検証し、今後の取組にいかすため、高松市美術館協議会での調査審議に関する意見や来館者アンケートのほか、市民満足度調査の結果等も加味して、自己点検を行います。

主な取組	主な内容	館
自己評価	・自己点検による評価	共通



高松市美術館 エントランスホール



高松市塩江美術館 企画展示室

付属資料

1 美術館利用者数等

1 年間利用者数（展覧会観覧者・イベント等参加者・貸室利用者・動画配信視聴者）

年度	高松市美術館	高松市塩江美術館	備 考
H28	147,026	14,614	(高)リニューアルオープン
H29	156,907	12,469	
H30	111,045	5,095	(塩)大規模改修のため7か月余り休館
R 元	136,097	19,212	(塩)リニューアルオープン
R2	112,484	10,891	新型コロナ感染拡大により17日休館
R3	131,348	8,315	新型コロナ感染拡大により約3か月休館
R4	149,230	15,794	
R5	164,005	16,118	
R6	250,612	16,349	

2 高松市美術館 特別展入場者数

年度	開催展数(展)	開催日数(日)	観覧者数(人)	主な展覧会
H28	6	192	40,495	ヤノベケンジ シネマタイズ
H29	5	179	53,290	蜷川実花展
H30	5	186	22,950	やなぎみわ 神話機械
R 元	5	182	30,916	宮永愛子：漕法
R2	5	181	37,962	世界が絶賛した浮世絵師 北斎展
R3	5	134	21,667	美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方
R4	5	187	50,603	さくらももこ展
R5	4	188	44,297	川瀬巴水展 旅と郷愁の風景
R6	4	189	50,431	五大浮世絵師展—歌麿・写楽・北斎・広重・国芳—

3 高松市美術館 コレクション展

年度	開催点数(展)	開催日数(日)	観覧者数(人)
H28	5	291	22,492
H29	4	286	26,914
H30	4	290	17,153
R 元	4	288	24,669
R2	4	275	16,182
R3	4	219	14,937
R4	4	239	18,555
R5	5	252	26,397
R6	4	292	35,945

4 高松市塩江美術館 企画展入場者数

年度	開催展数(展)	開催日数(日)	観覧者数(人)	主な展覧会
H28	8	255	6,283	生誕100年 市原輝士 -伝承-展
H29	7	270	5,827	「かがわ・山なみ芸術祭」連携企画 -時と共に-/AGAIN 井本英樹 ひび びびび展
H30	3	94	2,128	冨本七絵展 -情景の意志-
R元	8	259	8,681	塩江温泉鉄道 -風景と記憶-
R2	7	237	5,159	岩とイワ展
R3	7	191	4,043	染色家・山木地摂華 -存在の確認-
R4	7	261	7,444	「かがわ・山なみ芸術祭2022」関連事業 芸術の四国遍路道
R5	7	261	7,666	Birth...the...Full～すべては、その一滴から～ ガラス作家 杉山利恵展
R6	7	251	6,392	「田淵太郎 × 岡本尚子 二人展『scenery』」

5 高松市塩江美術館 常設展入場者数

年度	開催展数(展)	開催日数(日)	観覧者数(人)
H28	3	297	6,718
H29	3	297	6,015
H30	2	111	2,488
R元	3	301	8,690
R2	3	276	5,516
R3	3	213	4,102
R4	3	290	7,742
R5	3	281	7,588
R6	3	289	6,587



令和6年度 高松市美術館 特別展
「谷川俊太郎 絵本★百貨展」



令和7年度 高松市塩江美術館 企画展
「reiko.matsuno みんなひかり」

2 用語の解説

用 語	解 説
インバウンド	訪日外国人旅行や旅行者のこと。
交流人口	地域外からの旅行者や短期滞在者等、その地域を訪れる人のこと。
自主財源	地方税・手数料・使用料・財産収入・寄付金など地方公共団体が自主的に調達できる財源のこと。
市政出前ふれあいトーク	市政の仕組みや現在取り組んでいる施策・事業、今後の検討課題等について、職員が地域へ出向き説明するもの。
シティプロモーション	地域の魅力を認識し、効果的に発信することにより、都市のブランド力を高め、市内外の幅広い世代から、信頼や好感を獲得する取組のこと。
シビックプライド	都市に対する市民の誇りのこと。単なる郷土愛や愛着だけでなく、より良いまちにするためにまちづくりやまちの魅力発信に関わろうとする意識のこと。
せとうち美術館ネットワーク	(一財)本州四国連絡高速道路協会等が実施している連携事業で、瀬戸内地域の美術館を対象にしたスタンプラリーなどを行っている。
高松市ウェブミュージアム 収蔵品情報システム	高松市の文化施設の収蔵品情報と関連各館の情報を提供するサイトのこと。
高松市キャンパスメンバーズ制度	加入している県内の大学等の学生が無料又は割引で高松市の文化施設等を観覧できるもので、大学等は学生数に応じた年会費を負担する、本市と大学との連携事業のこと。
デジタル・アーカイブ	デジタル技術を用いて記録や資料をデータ化し、保存・管理すること。
ブランチギャラリー	高松丸亀町商店街振興組合と連携し、高松丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ高松」のショーウィンドーにおいて、令和3年3月に高松市美術館の新しい展示空間として開設し、高松市立美術館展覧会関連等の展示を行っている。
メディアアート	コンピューター、電子機器など新しいテクノロジーを用いた美術の総称。
やさしい日本語	普段使われているような言葉を、外国人にもわかるように配慮した簡単な日本語のこと。
ユニバーサルミュージアム	性別、年齢、障がいの有無、国籍、言語、宗教、文化を問わず、全ての人が利用できる美術館や博物館などの施設。
DX (デジタルトランスフォーメーション)	デジタル技術を社会に浸透させることで、生活やライフスタイル、社会の構造などの既存の価値観や枠組みを覆し、人々の生活をより良いものへ変化させていくこと。行政では、デジタル技術を活用して住民の利便性の向上や業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげていくことが求められる。
I C T	Information and Communication Technology の略。情報通信技術のこと。
O J T	On-the-Job Training の略。職場での実務を通じて知識やスキルを習得させる育成手法のこと。
S N S	Social Networking Service の略。自分の趣味・生活などのことを互いに公開する等、幅広いコミュニケーションを取り合うことを目的としたコミュニティ型の Web (ウェブ) サイトのこと。一般的に、Facebook (フェイスブック)、X (エックス)、Instagram (インスタグラム) などが知られている。
Well-being	心身ともに満たされた状態を表す概念。

高松市立美術館運営方針

策定 平成28年4月

改定 令和3年4月、令和8年4月

編集 高松市 創造都市推進局 文化・観光・スポーツ部
美術館美術課

〒760-0027 高松市紺屋町10-4

TEL 087-823-1711 FAX 087-851-7250

E-mail bijyutsu@city.takamatsu.lg.jp